

## 別添 1. キーカテゴリー分析の詳細

### 1.1. キーカテゴリー分析の概要

インベントリ報告ガイドライン<sup>1</sup>では、「温室効果ガスインベントリにおけるグッドプラクティスガイダンス及び不確実性管理報告書」（以下、「GPG（2000）」）を適用することとされており、同ガイダンスに示されたキーカテゴリー（key category）分析<sup>2</sup>を行う必要がある。

また、京都議定書第5条の国内制度指針においても、インベントリの作成に際し各国はGPG（2000）の7章に示された方法に沿ってキーカテゴリーを同定することが義務事項とされている。

### 1.2. キーカテゴリー分析結果

#### 1.2.1. キーカテゴリー

GPG（2000）の評価方法（Tier 1 のレベルアセスメント及びトレンドアセスメント、Tier 2 のレベルアセスメント及びトレンドアセスメント）に従って「キーカテゴリー」の評価を行った。

土地利用、土地利用変化及び林業（LULUCF）分野は、LULUCF-GPG の評価方法に従い、排出源分野のみの分析にてキーカテゴリーを評価した後、LULUCF 分野も含めた全体の分析を行い「キーカテゴリー」の評価を行った。

各手法の分析結果により、表 1 の 37 の排出・吸収区分が 2006 年度の日本のキーカテゴリーとなった。

---

<sup>1</sup> Guidelines for the preparation of national communications by Parties included in Annex I to the Convention, Part I: UNFCCC reporting guidelines on annual inventories (following incorporation of the provisions of decision 13/CP.9) (FCCC/SBSTA/2004/8)

<sup>2</sup> 2003年に承認された「土地利用、土地利用変化及び林業分野の IPCC グッドプラクティスガイダンス」において、従来の主要排出源に加えて吸収源を含めた分析の必要性が規定された。これを受けて、最新のインベントリ報告ガイドライン（FCCC/SBSTA/2004/8）では、主要排出源 [key source category] からキーカテゴリー [key category] へ用語が修正された。

表 1 日本のキーカテゴリー

			B	L1	T1	L2	T2	
			Direct GHGs					
#1	1A 燃料の燃焼(固定発生源)	固体燃料	CO <sub>2</sub>		#1	#2	#4	#8
#2	1A 燃料の燃焼(固定発生源)	液体燃料	CO <sub>2</sub>		#2	#1	#9	#10
#3	1A 燃料の燃焼(移動発生源)	b. 自動車	CO <sub>2</sub>		#3	#4	#7	
#4	1A 燃料の燃焼(固定発生源)	気体燃料	CO <sub>2</sub>		#4	#3		
#5	5A 森林	1. 転用のない森林	CO <sub>2</sub>		#5	#19	#6	
#6	6C 廃棄物の焼却		CO <sub>2</sub>		#6	#7	#3	#6
#7	2A 鉱物製品	1. セメント製造	CO <sub>2</sub>		#7	#9	#8	#15
#8	1A 燃料の燃焼(移動発生源)	d. 船舶	CO <sub>2</sub>		#8			
#9	2A 鉱物製品	3. 石灰石及びドロマイトの使用	CO <sub>2</sub>		#9		#14	
#10	1A 燃料の燃焼(移動発生源)	a. 航空機	CO <sub>2</sub>		#10	#13		
#11	2A 鉱物製品	2. 生石灰製造	CO <sub>2</sub>		#11		#23	
#12	5E 開発地	2. 他の土地利用から転用された開発地	CO <sub>2</sub>		#12	#17	#21	#23
#13	4A 消化管内発酵		CH <sub>4</sub>		#13			
#14	4C 稲作		CH <sub>4</sub>				#22	
#15	6A 固形廃棄物の陸上における処分		CH <sub>4</sub>			#12	#18	#12
#16	4B 家畜排せつ物の管理		N <sub>2</sub> O				#11	#22
#17	1A 燃料の燃焼(固定発生源:各種炉)		N <sub>2</sub> O				#20	#20
#18	4D 農用地の土壌	1. 直接排出	N <sub>2</sub> O				#5	#9
#19	2F(a) HFCs・PFCs・SF <sub>6</sub> の消費	1. 冷蔵庫及び空調機器	HFCs			#15	#16	#11
#20	2F(a) HFCs・PFCs・SF <sub>6</sub> の消費	7. 半導体製造	PFCs				#12	
#21	4D 農用地の土壌	3. 間接排出	N <sub>2</sub> O				#15	
#22	6C 廃棄物の焼却		N <sub>2</sub> O				#10	#17
#23	1A 燃料の燃焼(移動発生源)	b. 自動車	N <sub>2</sub> O				#13	#13
#24	4B 家畜排せつ物の管理		CH <sub>4</sub>				#17	#24
#25	2F(a) HFCs・PFCs・SF <sub>6</sub> の消費	5. 溶剤	PFCs			#8		#4
#26	2E HFCs・PFCs・SF <sub>6</sub> の製造	2. 製造時の漏出	SF <sub>6</sub>			#14	#19	#5
#27	5A 森林	2. 他の土地利用から転用された森林	CO <sub>2</sub>			#11		#19
#28	6B 排水の処理		N <sub>2</sub> O				#24	
#29	5C 草地	2. 他の土地利用から転用された草地	CO <sub>2</sub>			#16		#16
#30	2B 化学産業	3. アジピン酸	N <sub>2</sub> O			#10		#21
#31	2E HFCs・PFCs・SF <sub>6</sub> の製造	1. HCFC-22の副生物	HFCs			#5		#14
#32	2F(a) HFCs・PFCs・SF <sub>6</sub> の消費	8. 電気設備	SF <sub>6</sub>			#6		#2
#33	5B 農地	2. 他の土地利用から転用された農地	CO <sub>2</sub>					#18
#34	5F その他の土地	2. 他の土地利用から転用されたその他の土地	CO <sub>2</sub>				#1	#1
#35	1A 燃料の燃焼(移動発生源)	a. 航空機	N <sub>2</sub> O				#2	#3
#36	1A 燃料の燃焼(移動発生源)	d. 船舶	N <sub>2</sub> O				#25	
#37	1B 燃料からの漏出	1a i. 石炭(坑内堀)	CH <sub>4</sub>			#18		#7

注) レベルとトレンドの中の数値は、それぞれのレベルアセスメントとトレンドアセスメント中の順位を表す。

### 1.2.2. レベルアセスメント

レベルアセスメントは、カテゴリー毎の排出・吸収量が全体の排出・吸収量に占める割合を計算し、割合の大きなカテゴリーからそれぞれの割合を足し上げて、Tier 1 は全体の 95%、Tier 2 は全体の 90% に達するまでのカテゴリーを「キーカテゴリー」とするものである。Tier 1 による分析では各カテゴリーの排出・吸収量を直接使い、Tier 2 による分析では各カテゴリーの排出・吸収量にカテゴリー毎の不確実性を乗じたものを分析対象とする。

分析は、初めに排出源分野のみを対象にした評価を行い、一度キーカテゴリーを決定する。次に、LULUCF 分野を含めた全体を対象にした評価を行い、そこで新たにキーと判断された LULUCF 分野のカテゴリーを追加して、全分野のキーカテゴリーを決定する。

2006 年度の排出・吸収量に対するレベルアセスメントの結果、Tier 1 レベルアセスメントでは表 2 に示す 13 の排出・吸収区分、Tier 2 レベルアセスメントでは表 3 に示す 25 の排出・吸収区分がキーカテゴリーとなった。

表 2 Tier 1 レベルアセスメントの結果

	A IPCCの区分	B 温室効果 ガス	D 2006年度の 推計値 [千tCO <sub>2</sub> 換算]	E レベル アセスメント	F レベル評価 寄与度 (%)	累積 寄与度 (%)
#1	1A 燃料の燃焼(固定発生源) 固体燃料	CO <sub>2</sub>	437,041.97	0.305	30.5%	30.5%
#2	1A 燃料の燃焼(固定発生源) 液体燃料	CO <sub>2</sub>	315,494.33	0.220	22.0%	52.5%
#3	1A 燃料の燃焼(移動発生源) b. 自動車	CO <sub>2</sub>	221,895.10	0.155	15.5%	68.0%
#4	1A 燃料の燃焼(固定発生源) 気体燃料	CO <sub>2</sub>	186,535.20	0.130	13.0%	81.0%
#5	5A 森林 1. 転用のない森林	CO <sub>2</sub>	81,909.59	0.057	5.7%	86.7%
#6	6C 廃棄物の焼却	CO <sub>2</sub>	33,278.97	0.023	2.3%	89.0%
#7	2A 鉱物製品 1. セメント製造	CO <sub>2</sub>	31,376.40	0.022	2.2%	91.2%
#8	1A 燃料の燃焼(移動発生源) d. 船舶	CO <sub>2</sub>	13,083.49	0.009	0.9%	92.1%
#9	2A 鉱物製品 3. 石灰石及びドロマイトの使用	CO <sub>2</sub>	11,329.84	0.008	0.8%	92.9%
#10	1A 燃料の燃焼(移動発生源) a. 航空機	CO <sub>2</sub>	11,178.23	0.008	0.8%	93.7%
#11	2A 鉱物製品 2. 生石灰製造	CO <sub>2</sub>	7,478.38	0.005	0.5%	94.2%
#12	5E 開発地 2. 他の土地利用から転用された開発	CO <sub>2</sub>	7,346.89	0.005	0.5%	94.7%
#13	4A 消化管内発酵	CH <sub>4</sub>	7,035.23	0.005	0.5%	95.2%

表 3 Tier 2 レベルアセスメントの結果

	A IPCCの区分	B 温室効果 ガス	D 2006年度の 推計値 [千tCO <sub>2</sub> 換算]	I 排出・吸収源 の不確実性 (%)	K レベル評価 寄与度 Tier.2 (%)	累積 寄与度 (%)
#1	5F その他の土地 2. 他の土地利用から転用されたその他の土地	CO <sub>2</sub>	303.31	5316%	15.6%	15.6%
#2	1A 燃料の燃焼(移動発生源) a. 航空機	N <sub>2</sub> O	111.95	10000%	10.8%	26.4%
#3	6C 廃棄物の焼却	CO <sub>2</sub>	33,278.97	29%	9.3%	35.6%
#4	1A 燃料の燃焼(固定発生源) 固体燃料	CO <sub>2</sub>	437,041.97	1%	6.3%	41.9%
#5	4D 農用地の土壌 1. 直接排出	N <sub>2</sub> O	4,227.58	144%	5.9%	47.8%
#6	5A 森林 1. 転用のない森林	CO <sub>2</sub>	81,909.59	7%	5.8%	53.5%
#7	1A 燃料の燃焼(移動発生源) b. 自動車	CO <sub>2</sub>	221,895.10	2%	4.9%	58.5%
#8	2A 鉱物製品 1. セメント製造	CO <sub>2</sub>	31,376.40	10%	3.2%	61.6%
#9	1A 燃料の燃焼(固定発生源) 液体燃料	CO <sub>2</sub>	315,494.33	1%	3.0%	64.6%
#10	6C 廃棄物の焼却	N <sub>2</sub> O	2,924.81	84%	2.4%	67.0%
#11	4B 家畜排せつ物の管理	N <sub>2</sub> O	4,733.21	51%	2.4%	69.4%
#12	2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 7. 半導体製造	PFCs	3,223.31	64%	2.0%	71.4%
#13	1A 燃料の燃焼(移動発生源) b. 自動車	N <sub>2</sub> O	2,701.69	71%	1.8%	73.2%
#14	2A 鉱物製品 3. 石灰石及びドロマイトの使用	CO <sub>2</sub>	11,329.84	17%	1.8%	75.0%
#15	4D 農用地の土壌 3. 間接排出	N <sub>2</sub> O	2,982.20	61%	1.8%	76.8%
#16	2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 1. 冷蔵庫及び空調機器	HFCs	4,200.53	40%	1.6%	78.4%
#17	4B 家畜排せつ物の管理	CH <sub>4</sub>	2,471.35	65%	1.5%	80.0%
#18	6A 固形廃棄物の陸上における処分	CH <sub>4</sub>	5,392.22	28%	1.5%	81.4%
#19	2E HFCs・PFCs・SF6の製造 2. 製造時の漏出	SF <sub>6</sub>	1,508.09	100%	1.5%	82.9%
#20	1A 燃料の燃焼(固定発生源:各種炉)	N <sub>2</sub> O	4,521.49	33%	1.4%	84.3%
#21	5E 開発地 2. 他の土地利用から転用された開発地	CO <sub>2</sub>	7,346.89	19%	1.3%	85.7%
#22	4C 稲作	CH <sub>4</sub>	5,742.87	23%	1.3%	87.0%
#23	2A 鉱物製品 2. 生石灰製造	CO <sub>2</sub>	7,478.38	16%	1.1%	88.1%
#24	6B 排水の処理	N <sub>2</sub> O	1,177.81	92%	1.0%	89.1%
#25	1A 燃料の燃焼(移動発生源) d. 船舶	N <sub>2</sub> O	106.90	1000%	1.0%	90.2%

## 1.2.3. トレンドアセスメント

カテゴリーの排出・吸収量の変化率と全体の排出・吸収量の変化率の差を計算し、それに当該カテゴリーの排出・吸収寄与割合を乗じてトレンドアセスメントを算出し、さらにその数値の合計値に占める当該カテゴリーの割合が大きいカテゴリーから足し上げる。Tier 1 では全体の95%、Tier 2 は全体の90%に達するまでのカテゴリーを「キーカテゴリー」とする。Tier 1 による分析では各カテゴリーの排出・吸収量を直接使い、Tier 2 による分析では各カテゴリーの排出・吸収量にカテゴリー毎の不確実性を乗じたものを分析対象とする。

分析は、初めに排出源分野のみを対象にした評価を行い、一度キーカテゴリーを決定する。次に、LULUCF 分野を含めた全体を対象にした評価を行い、そこで新たにキーと判断された

LULUCF 分野のカテゴリーを追加して、全分野のキーカテゴリーを決定する。

2006 年度の排出・吸収量に対する Tier 1 トレンドアセスメントによると、表 4 に示す 19 の排出・吸収区分が、Tier 2 トレンドアセスメントによると、表 5 に示す 24 の排出・吸収区分がキーカテゴリーとなった。

表 4 Tier 1 トレンドアセスメントの結果

A IPCCの区分	B 温室効果 ガス	C 基準年の 推計値 [千tCO <sub>2</sub> 換算]	D 2006年度の 推計値 [千tCO <sub>2</sub> 換算]	H トレンド評価 寄与度 (%)	累積 寄与度 (%)
#1 1A 燃料の燃焼(固定発生源) 液体燃料	CO <sub>2</sub>	435,168.99	315,494.33	30.5%	30.5%
#2 1A 燃料の燃焼(固定発生源) 固体燃料	CO <sub>2</sub>	308,620.23	437,041.97	23.8%	54.3%
#3 1A 燃料の燃焼(固定発生源) 気体燃料	CO <sub>2</sub>	104,300.83	186,535.20	16.3%	70.6%
#4 1A 燃料の燃焼(移動発生源) b. 自動車	CO <sub>2</sub>	189,227.88	221,895.10	4.8%	75.4%
#5 2E HFCs・PFCs・SF6の製造 1. HCFC-22の副生物	HFCs	17,023.50	682.70	3.7%	79.0%
#6 2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 8. 電気設備	SF <sub>6</sub>	11,001.17	675.49	2.3%	81.4%
#7 6C 廃棄物の焼却	CO <sub>2</sub>	21,995.80	33,278.97	2.1%	83.5%
#8 2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 5. 溶剤	PFCs	10,612.00	2,220.15	1.9%	85.4%
#9 2A 鉱物製品 1. セメント製造	CO <sub>2</sub>	37,966.28	31,376.40	1.8%	87.3%
#10 2B 化学産業 3. アジピン酸	N <sub>2</sub> O	7,501.25	917.88	1.5%	88.8%
#11 5A 森林 2. 他の土地利用から転用された森林	CO <sub>2</sub>	5,632.19	1,479.04	0.9%	89.7%
#12 6A 固形廃棄物の陸上における処分	CH <sub>4</sub>	9,083.92	5,392.22	0.9%	90.6%
#13 1A 燃料の燃焼(移動発生源) a. 航空機	CO <sub>2</sub>	7,162.41	11,178.23	0.8%	91.4%
#14 2E HFCs・PFCs・SF6の製造 2. 製造時の漏出	SF <sub>6</sub>	4,708.30	1,508.09	0.7%	92.1%
#15 2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 1. 冷蔵庫及び空調機器	HFCs	807.13	4,200.53	0.7%	92.8%
#16 5C 草地 2. 他の土地利用から転用された草地	CO <sub>2</sub>	3,955.60	1,138.75	0.6%	93.5%
#17 5E 開発地 2. 他の土地利用から転用された開発地	CO <sub>2</sub>	9,730.54	7,346.89	0.6%	94.1%
#18 1B 燃料からの漏出 1a i. 石炭(坑内堀)	CH <sub>4</sub>	2,785.23	57.45	0.6%	94.7%
#19 5A 森林 1. 転用のない森林	CO <sub>2</sub>	75,127.14	81,909.59	0.6%	95.3%

表 5 Tier 2 トレンドアセスメントの結果

A IPCCの区分	B 温室効果 ガス	C 基準年の 推計値 [千tCO <sub>2</sub> 換算]	D 2006年度の 推計値 [千tCO <sub>2</sub> 換算]	I 排出・吸収源 の不確実性 (%)	M トレンド評価 寄与度 Tier.2 (%)	累積 寄与度 (%)
#1 5F その他の土地 2. 他の土地利用から転用されたその他の土地	CO <sub>2</sub>	434.80	303.31	5316%	16.5%	16.5%
#2 2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 8. 電気設備	SF <sub>6</sub>	11,001.17	675.49	40%	8.8%	25.3%
#3 1A 燃料の燃焼(移動発生源) a. 航空機	N <sub>2</sub> O	69.75	111.95	10000%	7.7%	33.0%
#4 2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 5. 溶剤	PFCs	10,612.00	2,220.15	40%	7.2%	40.2%
#5 2E HFCs・PFCs・SF6の製造 2. 製造時の漏出	SF <sub>6</sub>	4,708.30	1,508.09	100%	7.0%	47.2%
#6 6C 廃棄物の焼却	CO <sub>2</sub>	21,995.80	33,278.97	29%	5.8%	53.0%
#7 1B 燃料からの漏出 1a i. 石炭(坑内堀)	CH <sub>4</sub>	2,785.23	57.45	90%	5.2%	58.1%
#8 1A 燃料の燃焼(固定発生源) 固体燃料	CO <sub>2</sub>	308,620.23	437,041.97	1%	3.3%	61.4%
#9 4D 農用地の土壌 1. 直接排出	N <sub>2</sub> O	5,047.68	4,227.58	144%	3.2%	64.6%
#10 1A 燃料の燃焼(固定発生源) 液体燃料	CO <sub>2</sub>	435,168.99	315,494.33	1%	2.8%	67.4%
#11 2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 1. 冷蔵庫及び空調機器	HFCs	807.13	4,200.53	40%	2.7%	70.1%
#12 6A 固形廃棄物の陸上における処分	CH <sub>4</sub>	9,083.92	5,392.22	28%	2.4%	72.5%
#13 1A 燃料の燃焼(移動発生源) b. 自動車	N <sub>2</sub> O	3,901.71	2,701.69	71%	2.0%	74.5%
#14 2E HFCs・PFCs・SF6の製造 1. HCFC-22の副生物	HFCs	17,023.50	682.70	5%	1.9%	76.3%
#15 2A 鉱物製品 1. セメント製造	CO <sub>2</sub>	37,966.28	31,376.40	10%	1.8%	78.2%
#16 5C 草地 2. 他の土地利用から転用された草地	CO <sub>2</sub>	3,955.60	1,138.75	27%	1.6%	79.8%
#17 6C 廃棄物の焼却	N <sub>2</sub> O	1,910.66	2,924.81	84%	1.5%	81.3%
#18 5B 農地 2. 他の土地利用から転用された農地	CO <sub>2</sub>	1,945.52	307.27	42%	1.5%	82.8%
#19 5A 森林 2. 他の土地利用から転用された森林	CO <sub>2</sub>	5,632.19	1,479.04	16%	1.4%	84.2%
#20 1A 燃料の燃焼(固定発生源: 各種炉)	N <sub>2</sub> O	2,332.05	4,521.49	33%	1.4%	85.6%
#21 2B 化学産業 3. アジピン酸	N <sub>2</sub> O	7,501.25	917.88	9%	1.3%	86.8%
#22 4B 家畜排せつ物の管理	N <sub>2</sub> O	5,543.05	4,733.21	51%	1.1%	88.0%
#23 5E 開発地 2. 他の土地利用から転用された開発地	CO <sub>2</sub>	9,730.54	7,346.89	19%	1.1%	89.1%
#24 4B 家畜排せつ物の管理	CH <sub>4</sub>	3,120.57	2,471.35	65%	1.1%	90.2%

表 6 キーカテゴリー分析に用いた基礎データ

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
IPCCの区分	温室効果ガス	基準年の 推計値 [千tCO <sub>2</sub> 換算]	2006年度の 推計値 [千tCO <sub>2</sub> 換算]	レベル アセスメント	レベル評価 寄与度 (%)	トレンド アセスメント	トレンド評価 寄与度 (%)	排出・吸収源 の不確実性 (%)	レベルアセ メント(不確 実性考慮)	レベル評価 寄与度 Tier.2	トレンドアセ メント(不確 実性考慮)	トレンド評価 寄与度 Tier.2
IA 燃料の燃焼(固定発生源) 液体燃料	CO <sub>2</sub>	435,168.99	315,494.33	0.220	22.0%	0.0949	30.5%	1%	2.16	0.03	0.93	0.03
IA 燃料の燃焼(固定発生源) 固体燃料	CO <sub>2</sub>	308,620.23	437,041.97	0.305	30.5%	0.0759	23.8%	1%	4.52	0.06	1.09	0.03
IA 燃料の燃焼(固定発生源) 気体燃料	CO <sub>2</sub>	104,300.83	186,535.20	0.130	13.0%	0.0507	16.3%	0%	0.39	0.01	0.15	0.00
IA 燃料の燃焼(固定発生源) 各種印	CH <sub>4</sub>	533.48	607.17	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	0%	0.20	0.00	0.01	0.00
IA 燃料の燃焼(固定発生源) 各種印	N <sub>2</sub> O	2,332.05	4,521.49	0.003	0.3%	0.0014	0.4%	33%	1.04	0.01	0.45	0.01
IA 燃料の燃焼(移動発生源) a. 航空機	CO <sub>2</sub>	7,162.41	11,178.23	0.008	0.8%	0.0024	0.8%	3%	0.20	0.00	0.06	0.00
IA 燃料の燃焼(移動発生源) b. 自動車	CO <sub>2</sub>	189,227.88	221,895.10	0.155	15.5%	0.0148	4.8%	2%	3.56	0.05	0.34	0.01
IA 燃料の燃焼(移動発生源) c. 鉄道	CO <sub>2</sub>	932.45	645.30	0.000	0.0%	0.0002	0.1%	2%	0.01	0.00	0.01	0.00
IA 燃料の燃焼(移動発生源) d. 船舶	CO <sub>2</sub>	13,730.95	13,083.49	0.009	0.9%	0.0009	0.3%	2%	0.22	0.00	0.02	0.00
IA 燃料の燃焼(移動発生源) a. 航空機	CH <sub>4</sub>	2.94	5.01	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	200%	0.01	0.00	0.00	0.00
IA 燃料の燃焼(移動発生源) b. 自動車	CH <sub>4</sub>	265.72	202.92	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	64%	0.09	0.00	0.03	0.00
IA 燃料の燃焼(移動発生源) c. 鉄道	CH <sub>4</sub>	1.18	0.81	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	14%	0.00	0.00	0.00	0.00
IA 燃料の燃焼(移動発生源) d. 船舶	CH <sub>4</sub>	26.33	25.57	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	200%	0.04	0.00	0.00	0.00
IA 燃料の燃焼(移動発生源) a. 航空機	N <sub>2</sub> O	69.75	111.95	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	1000%	7.81	0.11	2.54	0.08
IA 燃料の燃焼(移動発生源) b. 自動車	N <sub>2</sub> O	3,901.71	2,701.49	0.002	0.2%	0.0009	0.3%	71%	1.33	0.02	0.66	0.02
IA 燃料の燃焼(移動発生源) c. 鉄道	N <sub>2</sub> O	121.38	82.81	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	11%	0.01	0.00	0.00	0.00
IA 燃料の燃焼(移動発生源) d. 船舶	N <sub>2</sub> O	111.31	106.90	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	1000%	0.75	0.01	0.07	0.00
IB 燃料からの漏出 1a.i. 石炭(坑内塵)	CH <sub>4</sub>	2,785.23	57.45	0.000	0.0%	0.0019	0.6%	90%	0.04	0.00	1.71	0.05
IB 燃料からの漏出 1a.ii. 石炭(露天掘り)	CH <sub>4</sub>	21.20	10.67	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	185%	0.01	0.00	0.01	0.00
IB 燃料からの漏出 2a. 石油	CO <sub>2</sub>	0.14	0.12	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	20%	0.00	0.00	0.00	0.00
IB 燃料からの漏出 2a. 石油	CH <sub>4</sub>	28.32	27.67	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	17%	0.00	0.00	0.00	0.00
IB 燃料からの漏出 2a. 石油	N <sub>2</sub> O	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	27%	0.00	0.00	0.00	0.00
IB 燃料からの漏出 2b. 天然ガス	CO <sub>2</sub>	0.25	0.42	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	25%	0.00	0.00	0.00	0.00
IB 燃料からの漏出 2b. 天然ガス	CH <sub>4</sub>	187.94	318.35	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	21%	0.05	0.00	0.02	0.00
IB 燃料からの漏出 2c. 溶気弁及びフレアリング	CO <sub>2</sub>	36.23	35.35	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	19%	0.00	0.00	0.00	0.00
IB 燃料からの漏出 2c. 溶気弁及びフレアリング	CH <sub>4</sub>	14.45	12.22	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	20%	0.00	0.00	0.00	0.00
IB 燃料からの漏出 2c. 溶気弁及びフレアリング	N <sub>2</sub> O	0.11	0.11	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	18%	0.00	0.00	0.00	0.00
2A 鉱物製品 1. セメント製造	CO <sub>2</sub>	37,966.28	31,376.40	0.022	2.2%	0.0057	1.8%	10%	2.29	0.03	0.60	0.02
2A 鉱物製品 2. 生石灰製造	CO <sub>2</sub>	7,371.02	7,478.38	0.005	0.5%	0.0002	0.1%	16%	0.83	0.01	0.03	0.00
2A 鉱物製品 3. 石灰石及びロマトの使用	CO <sub>2</sub>	11,527.41	11,329.84	0.008	0.8%	0.0005	0.2%	17%	1.32	0.02	0.09	0.00
2A 鉱物製品 4. ソダ灰の製造及び使用	CO <sub>2</sub>	583.63	329.67	0.000	0.0%	0.0002	0.1%	16%	0.04	0.00	0.03	0.00
2B 化学産業 1. アンモニア製造	CO <sub>2</sub>	3,384.68	2,163.50	0.002	0.2%	0.0009	0.3%	23%	0.35	0.00	0.21	0.01
2B 化学産業 アンモニア以外の化学産業	CO <sub>2</sub>	1,129.29	1,036.86	0.001	0.1%	0.0001	0.0%	77%	0.56	0.01	0.08	0.00
2B 化学産業 2. 硝酸	N <sub>2</sub> O	765.70	706.85	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	46%	0.23	0.00	0.03	0.00
2B 化学産業 3. アジピン酸	N <sub>2</sub> O	7,501.25	917.88	0.001	0.1%	0.0046	1.5%	9%	0.06	0.00	0.43	0.01
2B 化学産業 4. カーバイド	CH <sub>4</sub>	0.42	0.66	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	100%	0.00	0.00	0.00	0.00
2B 化学産業 5. カーボンブラック, エチレン, 二塩化エチレン, スチレン, コークス製造	CH <sub>4</sub>	337.80	115.21	0.000	0.0%	0.0002	0.1%	89%	0.07	0.00	0.14	0.00
2C 金属の生産 1. 鉄鋼製造	CO <sub>2</sub>	356.09	170.36	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	5%	0.01	0.00	0.01	0.00
2C 金属の生産 2. フェロアロイ	CH <sub>4</sub>	15.47	14.80	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	163%	0.02	0.00	0.00	0.00
2C 金属の生産 3. アルミニウムの生産	CH <sub>4</sub>	3.89	2.36	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	163%	0.00	0.00	0.00	0.00
2C 金属の生産 4. マグネシウムの生産	PFCs	69.73	14.82	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	33%	0.00	0.00	0.01	0.00
2C 金属の生産 5. マグネシウム等の製造	SF <sub>6</sub>	119.50	908.20	0.001	0.1%	0.0005	0.2%	5%	0.03	0.00	0.03	0.00
2E HFCs・PFCs・SF6の製造 1. HCFC-22の副生産物	HFCs	17,023.50	682.70	0.000	0.0%	0.0114	3.7%	5%	0.03	0.00	0.62	0.02
2E HFCs・PFCs・SF6の製造 2. 製造時の漏出	HFCs	419.02	249.10	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	100%	0.17	0.00	0.13	0.00
2E HFCs・PFCs・SF6の製造 2. 製造時の漏出	PFCs	762.85	864.84	0.001	0.1%	0.0000	0.0%	100%	0.61	0.01	0.04	0.00
2E HFCs・PFCs・SF6の製造 2. 製造時の漏出	SF <sub>6</sub>	4,708.30	1,508.09	0.001	0.1%	0.0023	0.7%	100%	1.06	0.01	2.30	0.07
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 1. 冷蔵庫及び空調機器	HFCs	807.13	4,200.53	0.003	0.3%	0.0022	0.7%	40%	1.18	0.02	0.89	0.03
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 2. 発泡	HFCs	451.76	300.87	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	52%	0.11	0.00	0.06	0.00
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 3. 消火器	HFCs	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	71%	0.00	0.00	0.00	0.00
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 4. エアコン/噴霧器	HFCs	1,365.00	1,056.97	0.001	0.1%	0.0003	0.1%	32%	0.24	0.00	0.08	0.00
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 5. 溶剤	PFCs	10,612.00	2,220.15	0.002	0.2%	0.0059	1.9%	40%	0.62	0.01	2.37	0.07
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 7. 半導体製造	HFCs	145.40	127.84	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	64%	0.06	0.00	0.01	0.00
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 7. 半導体製造	PFCs	2,857.35	3,223.31	0.002	0.2%	0.0001	0.0%	64%	1.44	0.02	0.09	0.00
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 7. 半導体製造	SF <sub>6</sub>	1,099.82	1,256.80	0.001	0.1%	0.0001	0.0%	64%	0.56	0.01	0.04	0.00
2F(a) HFCs・PFCs・SF6の消費 8. 電気設備	SF <sub>6</sub>	11,001.17	675.49	0.000	0.0%	0.0072	2.3%	40%	0.19	0.00	2.92	0.09
3 麻酔	N <sub>2</sub> O	287.07	266.41	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	5%	0.01	0.00	0.00	0.00
4A 消化管内發酵	CH <sub>4</sub>	7,641.73	7,035.23	0.005	0.5%	0.0007	0.2%	12%	0.58	0.01	0.08	0.00
4B 家畜排せつ物の管理	CH <sub>4</sub>	3,120.57	2,471.35	0.002	0.2%	0.0005	0.2%	65%	1.11	0.02	0.35	0.01
4B 家畜排せつ物の管理	N <sub>2</sub> O	5,543.05	4,733.21	0.003	0.3%	0.0007	0.2%	51%	1.70	0.02	0.38	0.01
4C 稲作	CH <sub>4</sub>	7,002.78	5,742.87	0.004	0.4%	0.0011	0.3%	23%	0.91	0.01	0.25	0.01
4D 農用地の土壌 1. 直接排出	N <sub>2</sub> O	5,047.68	4,227.58	0.003	0.3%	0.0007	0.2%	144%	4.25	0.06	1.04	0.03
4D 農用地の土壌 3. 間接排出	N <sub>2</sub> O	3,628.35	2,982.20	0.002	0.2%	0.0006	0.2%	61%	1.28	0.02	0.34	0.01
4E 野外で農作物の残留物・を焼くこと	CH <sub>4</sub>	129.77	102.17	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	143%	0.10	0.00	0.03	0.00
4E 野外で農作物の残留物・を焼くこと	N <sub>2</sub> O	103.92	73.58	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	182%	0.09	0.00	0.04	0.00
5A 森林 1. 転用のない森林	CO <sub>2</sub>	75,127.14	81,909.59	0.057	5.7%	0.0018	0.6%	7%	4.17	0.06	0.13	0.00
5A 森林 2. 他の土地利用から転用された森林	CO <sub>2</sub>	5,632.19	1,479.04	0.001	0.1%	0.0030	0.9%	16%	0.16	0.00	0.46	0.01
5A 森林	CH <sub>4</sub>	8.31	2.48	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	53%	0.00	0.00	0.00	0.00
5A 森林	N <sub>2</sub> O	0.84	0.25	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	89%	0.00	0.00	0.00	0.00
5B 農地 1. 転用のない農地	CO <sub>2</sub>	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	0%	0.00	0.00	0.00	0.00
5B 農地 2. 他の土地利用から転用された農地	CO <sub>2</sub>	1,945.52	307.27	0.000	0.0%	0.0012	0.4%	42%	0.09	0.00	0.48	0.01
5B 農地	CH <sub>4</sub>	21.72	1.97	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	81%	0.00	0.00	0.01	0.00
5B 農地	N <sub>2</sub> O	95.41	14.51	0.000	0.0%	0.0001	0.0%	108%	0.01	0.00	0.06	0.00
5C 草地 1. 転用のない草地	CO <sub>2</sub>	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	0%	0.00	0.00	0.00	0.00
5C 草地 2. 他の土地利用から転用された草地	CO <sub>2</sub>	3,955.60	1,138.75	0.001	0.1%	0.0020	0.6%	27%	0.21	0.00	0.54	0.02
5C 草地	CH <sub>4</sub>	3.06	0.31	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	80%	0.00	0.00	0.00	0.00
5C 草地	N <sub>2</sub> O	0.31	0.03	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	108%	0.00	0.00	0.00	0.00
5D 湿地 1. 転用のない湿地	CO <sub>2</sub>	0.00	0.00	0.000	0.0%	0.0000	0.0%	0%	0.00	0.00	0.00	0.00
5D 湿地 2. 他の土地利用から転用された湿地	CO											

#### 1.2.4. 質的評価

温室効果ガス削減対策が実施されている区分、排出・吸収量が急激に変化している区分、Tier 1 によるキーカテゴリー分析しか行っていない場合に不確実性の高い区分、排出・吸収量が過大または過小と考えられる区分を「キーカテゴリー」とするものである。

わが国では、温室効果ガス削減対策が実施されている区分、新規に算定を行った排出・吸収区分、算定方法を変更した排出・吸収区分を質的評価によるキーカテゴリーとしている。

2008年提出インベントリでは Tier.1、Tier.2 によるレベルアセスメント、トレンドアセスメントによる定量評価結果のみでキーカテゴリーの決定を行なった。